

# ドクターヘリによる 救急医療提供体制の確保に向けて



**Doctor-Heli**



令和8年5月  
関西広域連合

# ドクターヘリによる救急医療提供体制に関する緊急要請

## 現状と課題

### 【現状】

- 令和7年度  
複数の都府県でドクターヘリが一時的に運航停止
- 令和8年度  
徳島・東京・大阪のドクターヘリが運航停止（運航会社未定）
- 令和8年3月31日付厚生労働省事務連絡においては、「都道府県知事が必要と認める場合」に整備士同乗ルールの緩和を認めるなど、国が主体的な判断を回避。

### 【課題】

- 令和7年度の運航事業者は、運航に必要な人的リソースを確保できない。
- ドクターヘリの運航事業者は、全国で12社と限られており、各社とも事業拡大に向けた余力が少ない。
  - ・ 全国的に操縦士・整備士等が不足
  - ・ 物価高騰により、機体はじめ運航に係る経費が増大

## アクション

### 短期

#### 《運航体制》

- 整備士同乗ルールなど、ドクターヘリ独自ルールについて、国の責任において、明確な基準を示した上で、関係機関の理解を得た新たなルールを策定
- 国主導により、「ドクターヘリ運航停止地域」における民間運航会社による運航体制の確保

- ・ 我が国で稼働する各種ヘリコプター（警察・消防・自衛隊等）の活用による 国主導による総合的なバックアップ体制のあり方について抜本的に検討

#### 《財政支援》

- ドクターヘリ運航体制緊急支援事業（R7年度補正予算）において、
  - ・ 緊急的な運航体制の確保により生じる追加的な経費
  - ・ 運航停止中のカバー体制の構築や速やかな運航再開に向けた人員体制の維持に必要な経費

などを幅広く補助対象とする柔軟な対応

### 中長期

#### 《運航体制》

- 国の責任において、安定的かつ効率的なドクターヘリ運航体制の再構築
- 効率性・汎用性を高めるとともに人材対応力の向上を図るため、ドクターヘリを含む各種ヘリの機材やルールの統一

#### 《人材育成》

- 人材獲得競争が厳しくなるなか、今後の操縦士等の大量退職時代に備え、操縦士・整備士等の人材確保・養成の取組

#### 《財政支援》

- 「ドクターヘリ導入促進事業」（当初予算）において、機体価格の高騰や賃上げなどに伴う運航経費の増大を反映した十分な予算を確保
- 自治体の機体購入費用について、緊急防災・減災事業の対象とする等、財政的支援を行うとともに、自治体が機体を所有することを前提とした運航経費についても財政的支援の対象とすること